

平成30年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名： ウェルネスフォレスト三日市

指定管理者名： HOSグループ 株式会社 東大阪スタジアム

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	S	S
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	S	S
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	S	S
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	S	S
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	S
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	S
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	60,638,600	59,368,400	1,270,200	57,615,550	
	自主事業収入	22,959,537	26,759,318	-3,799,781	20,853,463	
	物品販売収入	2,474,463	2,082,469	391,994	2,290,195	
	手数料収入			0		
	指定管理料	23,521,577	23,521,577	0	24,479,369	
	その他収入	0	393,498	-393,498	396,325	
	<b>収入総額</b>	109,594,177	112,125,262	-2,531,085	105,634,902	
支出	人件費	54,200,000	52,765,355	1,434,645	49,987,504	
	事務費	4,650,000	5,676,937	-1,026,937	4,532,166	
	管理費	31,644,177	33,115,422	-1,471,245	31,258,436	
	自主事業経費	11,850,000	12,201,027	-351,027	12,706,049	
	光熱水費			0	0	
	リース料	7,250,000	6,783,541	466,459	7,274,949	
	その他	0	30,022	-30,022	59,014	
	<b>支出総額</b>	109,594,177	110,572,304	-978,127	105,818,118	0
<b>収支差額</b>	0	1,552,958	-1,552,958	-183,216	0	

## 3. 総合評価

## 自己評価

HOSが指定管理を受託させていただき3年が終了しました。施設利用状況として、登録会員数は昨年度より1,500名増の7,000名を超えました。年間の施設利用者数も昨年より約1万名増の13万人を超えております。レッスンプログラムとして、機能改善系、ダンスエクササイズ、エアロビクス等の多種多様なレッスンを開催することで、受講目的で来館される方が増えた事が要因です。来館者の大半は、各曜日の午前中利用の方で、施設が混雑する場面も見られるようになりました。ただし17時以降や日曜日に関してはまだまだ受け入れは可能です。

収支面では3年目にして収支差額1,552,958円と黒字にすることができました。自主事業のジュニアスイミングの入会数が昨年度より増加、18時以降や土日祝日の施設利用が可能なホリデー会員の増加、月4回利用可能なウェルネスサポート会員の導入等で収入が増加しました。結果、河内長野市民の方々に弊社の施設運営を広く受け入れて頂くことが出来ました。

次年度以降の課題は、上記で記載しているように17時以降の利用者増が必須です。夜間の利用者は午前中と違い30代までの若い層の利用が目立ちます。傾向として、入会・登録手続きはするが、そこから足が遠のいていかれるケースが多々ございます。初期の施設利用時に、トレーニングメニューやその方に合った利用プランを紹介していくことで、運動を習慣にさせていただくようにいたします。

他の公共施設と違いウェルネスフォレスト三日市は幼児～高齢者まで幅広く利用して頂ける施設ですので、その部分を考慮したシステム環境を整えて参ります。

## 市評価

指定管理3年目となり、昨年度に引き続き、体験レッスン・短期教室の実施や新聞折込広告、ウェルネスサポート会員の導入など様々な手法により、利用者増加や施設の魅力向上のための運営を自主的に検討し実施することで、月会員やジュニアスイミング会員人数は昨年度より1,500人以上増加しました。また、利用来館者数も順調に増加し、年間施設利用者数は13万人を超え、施設の認知度が高まって来ていると言えます。

また、昨年度に引き続き、光熱水費の節減に取り組むことにより、経費を削減することができました。

平成30年度の収支実績について、150万円を超える黒字となったことは、上記の様々な運営努力の結果の表れであり、今後も引き続き、利用者の利用傾向の分析、ニーズに応じた新規事業の導入や充実事業の検討を行い、利用者に健康・運動に関心をもっていただけるような環境づくりに努めるとともに、幅広い年齢層が利用する施設の効用を最大限に発揮できるような運営を期待します。